

令和 8 年度

看護師特定行為研修

研修要項

新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター



みなさんの健康と心の支えに



新潟厚生連

新潟医療センターの基本理念

新潟医療センターは新潟市の西区、信濃川の西側に位置する小針地区の中心にあります。病床数 265 床を持ち、急性期を対象とした一般病床に加え地域包括ケア病床、訪問看護ステーション、介護医療院こばり園を併設している。地域の救急拠点病院として、急性期医療を中心に在宅医療まで含めた幅広い領域で診療を行い、「新潟の命を守る」をスローガンに活動を行っている。

患者様の考えを尊重し、患者様の立場に立った“心に寄り添う医療“を目標に掲げ、医師・看護師をはじめとする医療従事者が教育・研修に取り組んでいる。当院の基本理念である「安全で質の高い医療」、「地域の皆様に満足していただける医療」の提供のため職員一同研鑽に努めている。

沿革

JA 新潟県厚生連では、2017 年より特定行為看護師養成事業への取り組みを開始した。新潟医療センターは、令和 1 年 8 月 22 日付で厚生労働省が指定する研修機関として認可された。

特定行為について

特定行為は、看護師が手順書に基づき行う 38 の診療の補助行為である。特定行為研修を受けた看護師は、医師・歯科医師があらかじめ作成した手順書(指示)によって、タイムリーに特定行為を実施することができる。

(改正後の法第 37 条の 2 第 2 項第 4 号、特定行為研修省令第 5 条並びに別表第 3 及び別表第 4 関係を参照)

当院の研修に対する基本理念と教育目標

患者に最も身近な看護師が、チーム医療のキーパーソンとして患者や住民のニーズに応えられるとともに、医師をはじめとする医療従事者から、期待される役割を十分に担える看護師の育成を理念としている。特定行為研修では、安全に配慮し医療現場で実践的理解力・思考力および判断力と高度な専門的知識と技術を発揮できる看護師育成を目標としている。また、地域医療を含むチーム医療のキーパーソンとして、期待される役割・責任を発揮できるよう自己研鑽できる人材を育成することが目標である。

当院で行う特定行為区分と研修募集定員

特定行為区分名	特定行為名	定員数
栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	2 名

特定行為区分名	特定行為名	定員数
動脈血液ガス分析関連	(A) 直接動脈穿刺法による採血 (B) 橈骨動脈ラインの確保	1 名

なお応募者多数の場合は、特定行為研修管理委員会で審議し研修生を選考する。

研修は1人1特定行為区分までとし、同時に2つの特定行為区分を受講はできないものとする。

区分別のみの場合、動脈血液ガス分析関連の定員を1名追加は可能とし、その場合は10月から6カ月間（10月～3月）の研修とする。

受講要件

受講申し込みにあたっては、次に定める要件をすべて満たす必要がある。

- 1) 看護師免許を有すること。
- 2) 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有すること。
- 3) 所属長(看護部長あるいは同等職位の所属長)の推薦を有すること。
- 4) 受講するにあたって、厚生連本部が指定する賠償責任保険への加入ができること。

令和8年度生 募集期間と研修期間

栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連

募集期間 : 令和8年8月17日(月)～令和8年9月2日(水)

研修期間 : 令和8年10月1日(木)～令和9年9月30日(木) 1年間

動脈血液ガス分析関連

募集期間 : 令和8年8月17日(月)～令和8年9月2日(水)

研修期間 : 令和8年10月1日(木)～令和9年9月30日(木) 1年間

区分別のみ受講 6カ月研修

募集期間 : 令和8年8月17日(月)～令和8年9月2日(水)

研修期間 : 令和8年10月1日(木)～令和9年3月31日(水)

*募集期間に限らず、定員に達した場合は締め切らせていただきます。

出願手続き

募集要項請求方法

新潟医療センターホームページ〔看護師特定行為研修センター〕から必要書類をダウンロード

ホームページ <http://www.niigata-medical.jp/>

受講申請書類

- 1) 受講申請書(様式 1)
- 2) 履歴書(様式 2)・・・院内生は不要
- 3) 志望理由書・受講推薦書(様式 3)・・・所属長の推薦文を記載のこと
- 4) 看護師免許証の写し
- 5) 認定看護師認定証又は、専門看護師認定証又は、特定行為研修修了証の写し(有資格者のみ)
- 6) 可否結果通知用封筒(長形 3 号、宛先を明記し、送料切手を貼付)

出願方法

書類に必要事項を記入の上、当院宛に郵送(簡易書留)もしくは持参。

当日消印有効 持参の場合は 16 : 30 締め切り。

<宛先>

〒950-2022 新潟市西区小針 3 丁目 27-11 新潟厚生連新潟医療センター
特定行為研修実務責任者 吉田 薫 宛

特定行為研修の到達目標

共通科目

1. 多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。
2. 多様な臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。
3. 多様な臨床現場において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける。
4. 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける。
5. 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける。

区分別科目

1. 多様な臨床場面において、『CV カテーテル抜去』『直接動脈穿刺法による採血』『橈骨動脈ラインの確保』を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につける。
2. 多様な臨床現場において、医師または歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

特定行為研修の履修免除

既に特定行為研修修了者が、習得した特定行為以外の区分別科目を習得したい場合は、院内特定行為研修管理委員会で審議し、共通科目の免除を決定する。免除の条件としては、特定行為研修修了証の提出と、既に習得した特定行為実践を通年実践（過去 1 年の実績状況）していることを条件とする。

研修内容と時間数

共通科目

科目	研修・評価時間数（時間）					評価方法	
	講義	演習	実習	評価	小計	筆記試験	各種実習の観察評価
臨床病態生理学	27	2		1	30	○	
臨床推論	35	8	1	1	45	○	○
フィジカルアセスメント	39	3	2	1	45	○	○
臨床薬理学	35	9		1	45	○	
疾病・臨床病態概論	34	4		2	40	○	○
医療安全学/特定行為実践	22	13	9	1	45	○	○
小計	192	39	12	7	250		

区分別科目〈中心静脈カテーテルの抜去〉

科目	研修・評価時間数（時間）					評価方法	
	講義	演習	演習	評価	小計	筆記試験	各種実習の観察評価
中心静脈カテーテルの抜去	7		3	1	11	○	○

区分別科目〈動脈血液ガス分析関連〉

科目	研修・評価時間数（時間）					評価方法	
	講義	OSCE	演習	評価	小計	筆記試験	各種実習の観察評価
（共通）動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5			0.33	5	○	
（A）直接動脈穿刺法による採血	4	1	5	0.33	9	○	○
（B）橈骨動脈ラインの確保	4	1	5	0.33	9	○	○
小計	13	2	10	1	26		

※ 研修進度予定表は別紙参照

『共通科目』
全ての特定行為区分に
共通するものの向上を図るための研修

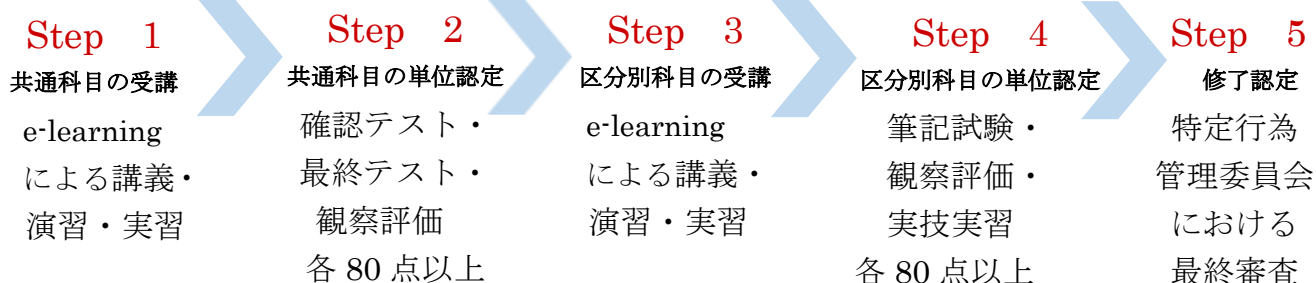


『区分別科目』
特定行為区分ごとに
異なるものの向上を図るための研修

- 共通科目及び区分別科目は、全日病 SQUE e-learning を中心とした講義、演習または実習を行う。
- 共通科目筆記試験に合格後、区分別科目に進む。
- 共通科目の各科目及び区分別科目の履修の成果は、筆記試験その他適切な方法により評価を行う。

厚労省医政局看護課看護サービス推進室『看護師の特定行為研修の概要について』を参考

研修の進め方



- ① 研修は、共通科目と特定行為ごとに異なる区分別科目に分かれている。各科目の研修方法には講義・演習・実習があります。当院では全日病 S-QUE 研究会 e-learning を採用しており、講義は繰り返し好きな時間に受講が可能である。各科目の講義時間のうち 9 割以上を受講すると確認テストが受けられ、80 点以上が合格ラインと設定している。
- ② 演習は講義で学んだ内容を基礎にして、指導者と共に議論や発表を行う形式の授業で、症例検討やペーパーシミュレーションなどを行う。実習は講義や演習で学んだことについて実技を中心に、実習室や医療現場で学習する。また週に 1～2 回、実習室に集合し講義の進捗状況の確認や指導者への質問、研修生同志の情報交換を行う時間も設けている。各科目の試験(評価)は e-learning で行うが、実習室に集合し受験する。
- ③ 区分別科目の受講は、共通科目が合格していないと受講できない。
 - ・区分別科目『中心静脈カテーテルの抜去』は 7 時間の講義、3 時間の演習、さらに 5 例以上の症例実習を受講する。
 - ・区分別科目『直接動脈穿刺法による採血』『橈骨動脈ラインの確保』は 13 時間の講義、10 時間の演習、さらに 2 行為各 5 例以上の症例実習を受講する。研修生の修練状況に応じて症例数を調節するが、最低 5 例以上の症例実習が必要である。症例実習の『中心静脈カテーテルの抜去』と『直接動脈穿刺法による採血』は、新潟医療センター内で実施する。『橈骨動脈ラインの確保』は、協力施設の長岡中央総合病院にて実施する。実習期

間は11週間と余裕をもって設定するが、症例数の確保が困難な時は実習期間等を調整するため、十分な修練が可能である。

研修修了の要件

研修生は各科目の試験に合格した後、総合評価として修了試験を受けなければならない。修了試験に合格し、特定行為研修管理委員会の承認を経て修了を認定する。特定行為研修修了者には修了証を交付し、修了者を厚生労働省に報告する。

受講にかかる費用について

研修生がJA新潟厚生連に勤務する看護師等の場合は、JA新潟厚生連本部の長期研修の取り扱いに則り対応する。研修生がそれ以外の場合の受講料は以下の通り。(消費税込み)

栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	① 入講料		20,000 円
	② 授業料	共通科目	410,000 円
		区分別科目	21,000 円
動脈血液ガス分析関連	① 入講料		20,000 円
	② 授業料	共通科目	410,000 円
		区分別科目	24,000 円

※上記費用のほかに、テキスト代等が必要となる場合あり。

個人情報の取り扱い

新潟医療センターでは『JA新潟厚生連 看護部管理基準第11章 5. 個人情報の適正管理』および『新潟医療センター看護管理基準』の規定に基づき取り扱う。

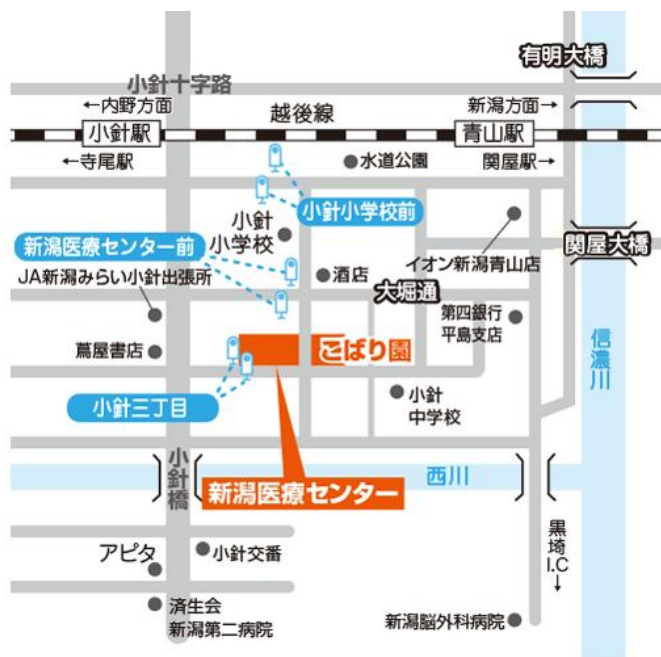
出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、当院の特定行為研修およびこれらに付随する事項にのみ利用し、他の目的には利用しない。

研修生には『個人情報の取り扱いに関する同意書』(別紙)において、同意の確認を行う。

就労しながら受講するための配慮

講義はe-learningを導入しているため、勤務や学習スタイルに合わせ計画的に進められるようにしている。共通科目および区分別科目の演習・実習、症例実習に関しては、平日日勤帯に集中的に行うことで、勤務調整がしやすいようにしている。但し1年の期間中に、研修生によっては勤務と研修の両立が難しくなり進捗状況に影響を及ぼす可能性がある。その場合は所属施設もしくは所属部署と相談しながら、勤務形態の変更や研修期間の延長等、研修を中止することなく継続できるように支援を行う。

医療安全体制および医療事故発生時の対応は、新潟医療センター医療安全管理マニュアルに準ずる。
症例実習を行う際には、実習中の緊急時対応に関するオリエンテーションを行う。



担 当 : 特定行為実務担当者 副看護部長 吉田 薫

<http://www.niigata-medical.jp/>